

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6(5)	身体拘束委員会の設置・開催を定期的に行う(3か月に1度)	3か月に1度は身体拘束委員会の開催を行う。また研修も行い利用者様に対する介護の在り方を再確認していく。	3か月に1度の開催を行い身体拘束における共通理解を全職員ではかる。	3ヶ月
2	2(2)	事業所と知己とのつきあいコロナ禍で行えなかった。	約3年におけるコロナ禍において施設全体が地域とのかかわりが薄れてしまったなか今年度は施設のリハビリ期間と捉え参加できる地域行事に参加していく。	買い物・散歩・ドライブから始めていき回覧板掲載の行事や柏GH協会の行事開催などがあれば無理のない程度に参加していく。	12ヶ月
3	1(1)	理念の共有と実践について大きくではなくより実践が行えるような短い言葉で施設職員・管理者で分かりやすく作成してみてもどうか。	理念を職員・管理者で作成しながら地域の皆様やご家族・利用者様にも理解の得やすい施設づくりを行っていければと思います。	職員会議や勉強会の際に独自の理念作成に努め理念を基に日々の生活支援を実践していく。	3ヶ月
4	35(13)	災害対策について火災や地震だけではなく水害対策も行う必要がある。	地域住民様や消防署などから水害に対する注意事項や避難方法を伺いそれに対しての施設知識(職員)を身につける。	水害訓練の実施 計画の作成 水害マップ掲示	6ヶ月
5					ヶ月